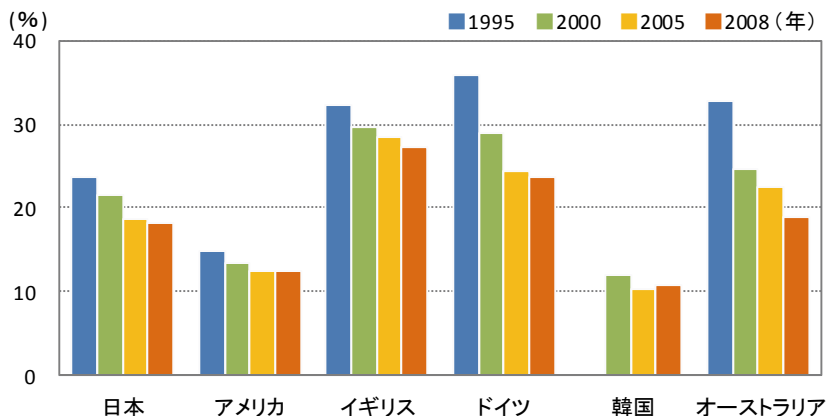


7-1 労働組合組織率の推移



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第7-1表 労働組合員数・組織率(各国公式統計)」(p.215)を参照。

(注) ドイツの2008年は2006年の数値，韓国の2008年は2007年の数値。

主要国の労働組合組織率を最新値と比較すると、イギリス (27.4%, 2008年) が最も高く、ドイツ(23.6%, 2006年)、日本(18.1%, 2008年)、アメリカ(12.4%, 2008年)の順となっている。フランスの労組組織率は入手可能な最新値が2003年時点のものであるが、8.2%といずれの国も下回っている。

また、1995年から2008年までの時系列の変化をみると、いずれの国でも組織率は低下傾向にある。